



# 山本ゆみこ通信

暮らしに、希望と活力を！  
未来に、安全・安心を！

— ごあいさつ —

緊急事態宣言が全面解除されて小康状態であった新規感染者数は、東京都を中心に再び増加しており、本市においても新規感染者が発生している状況です。依然として感染の脅威が我々の生活に潜み、予断を許さない状況にあります。今後は「新しい生活様式」に基づく行動を様々な場面で定着させることが求められています。どこまでも「つながり・支えあい」を大切に、この難局を共に乗り越えてまいりたいと思います。またコロナ禍において、7月には九州・熊本などを中心に河川の氾濫や土砂災害、浸水害等により甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに被災された皆様にお見舞い申し上げます。これからも暮らしの安全・安心を守るため、市民の皆さまからのお声を受け止め、しっかり働いてまいります。



## 議会報告

### 令和2年6月定例会(6/8~6/26)

#### 一般質問に立ちました！

##### 【質問要旨】

#### ◎ 避難所における感染症対策について

- Q** ①新型コロナウイルス感染症を踏まえて、避難所開設・運営マニュアル等を改訂し、避難所運営関係者に周知を図る考えは。②避難所開設・運営訓練を実施し、検証結果をマニュアルに反映していく予定は。
- A** ①3密の防止等、新たに追加した感染症防止対策については、開設に従事する職員、運営に協力いただく各自治会に説明したが、マニュアルについては早急に改訂し、各関係機関に周知を図る。②マニュアルの改訂を含め、訓練についても考えていく。



#### ◎ マイナンバーカードを活用したマイナポイント事業について

- Q** 国において消費活性化策の1つとして、マイナンバーカードを活用した「マイナポイント事業」が本年9月から実施される。本年7月から始まる申し込みには、事前の準備としてマイナンバーカードの取得、マイナポイントの予約となるマイキーIDの設定が必要となる。国は市区町村にマイキーIDの設定とマイナポイント申し込みの支援を要請しているが、本市の支援体制は。
- A** マイキーIDの設定及びマイナポイント申し込み支援の専用の場所を設けるとともに設定を支援する職員も配置し、支援体制を構築していく。



#### ◎ 学校教育のICT化について

- Q** 新型コロナウイルス感染症により臨時休校が長期化し、子どもたちの学習の機会が失われたことで、ICTの活用により学びの保障をすることが緊急の課題として浮き彫りとなった。急速な学校のICT化を円滑に進めるためには、専門的な知識を持ったGIGAスクールサポーターやICT支援員等による支援が必要と考えるが、人材確保の取り組みは。
- A** 学校現場の状況を理解し、ICT環境整備等の知見を有する方や日常的に教員のICT活用を支援できる方が必要不可欠であり、予算の確保と併せて、人材確保にも努める。





#### ◎ コロナ禍における市の独自支援について

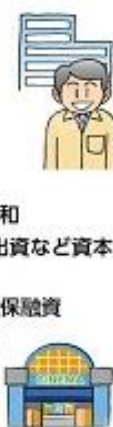


- Q** 国の1人10万円の特別定額給付金は、基準日令和2年4月27日において住民基本台帳に記録されている方が対象であり、4月28日以降の新生児は対象となっていない。コロナ禍で出産を迎え、経済的にも大変な中での子育てを応援するため、4月28日以降に生まれた赤ちゃんを対象に、市独自の支援を実施する考えは。
- A** 子育て世代包括支援センターBcomeなどを中心に、専門スタッフがきめ細かに対応し、コロナ禍においても支援に努める。現時点では経済的支援は考えていないが、現状を把握して検討する。



# ◆公明推進の主な新型コロナ関連施策

子育て・暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全国全ての人に一律10万円の特別定額給付金</li> <li>● 児童手当受給世帯に子1人当たり1万円給付</li> <li>● 所得が低いひとり親世帯に5万円(第2子以降は3万円ずつ加算)の給付</li> <li>● 小学校休校などに伴う休業に対しフリーランスも含めて補償。金額の引き上げも</li> <li>● 緊急小口資金や総合支援資金の貸し付け上限引き上げ。返済免除など特例創設</li> <li>● 家賃相当額を支援する住居確保給付金の要件緩和</li> <li>● 住宅ローンの返済期間延長など柔軟に対応</li> <li>● 住宅ローン減税の適用期間を1年延長</li> <li>● 社会保険料や所得税、光熱水費などの減免や支払い猶予</li> </ul>	
学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 困窮学生に最大20万円の緊急給付金</li> <li>● 授業料を減免する大学などを支援</li> <li>● 児童・生徒に1人1台の端末整備などでオンライン学習を支援</li> <li>● 文科省ホームページに子ども向け推薦図書を紹介サイト</li> </ul>	
雇用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 雇用調整助成金の日額上限を1万5000円に引き上げ</li> <li>● 中小企業の労働者が直接申請できる休業支援金(月額上限33万円)を創設</li> </ul>	



事業継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法人に最大200万円、個人事業主に同100万円の持続化給付金</li> <li>● 今年創業の企業や事業収入を雑所得とするフリーランスも持続化給付金の対象に</li> <li>● 法人に最大600万円、個人事業主に同300万円の家賃支援給付金</li> <li>● 中小・小規模事業者の固定資産税など減免</li> <li>● セーフティネット貸付・保証枠などの要件緩和</li> <li>● 政府系金融機関を通じた「劣後ローン」や出資など資本性資金の供給</li> <li>● 政府系、民間金融機関での実質無利子・無担保融資</li> <li>● 文化芸術の活動継続へ、個人に最大20万円、団体には同2500万円の支援</li> <li>● 農林漁業者の経営継続に最大150万円支援する経営継続補助金</li> <li>● 生活困窮者らを支援するNPO法人の活動に休眠預金を活用した助成制度</li> </ul>	
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人工呼吸器、マスクなどの生産支援</li> <li>● 治療薬、ワクチンの開発支援</li> <li>● PCR検査の保険適用と自己負担分を全額公費助成。唾液検体も対象に</li> <li>● オンライン診療を初診から保険適用</li> <li>● 医療・介護・障がい福祉サービス従事者に5万~20万円の慰労金</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 政府内に専門家会議の設置</li> <li>● 地方創生臨時交付金を3兆円に</li> <li>● 農水省の「花いっぱいプロジェクト」を支援</li> <li>● 緊急包括支援交付金を増額。全額国庫負担に</li> <li>● 地域公共交通の感染防止対策に補助金</li> </ul>	

## 議員活動より



公益財団法人亀岡市環境事業公社主催の「**亀岡市ポイ捨て等禁止条例**」(令和2年8月1日より施行)を周知PRする街頭啓発活動を3月に行いました。



【注意喚起 看板設置】千代川町小川の踏切には、車両通行止めの標識はあるが、自転車やバイクに乗ったまま通行される方が多く、接触することもあり危険。「標識とともに誰もがわかる看板設置をしてほしい」とのお声を聞き、市へ要望。本年4月に設置されました。

【福祉なんでも相談窓口開設】多様で複雑化する住民の悩みに、一元的に応じる包括的な支援体制として、「福祉なんでも相談窓口」が令和2年4月1日より開設されました。(令和元年12月議会で要望)

【連帯保証人不要に】身寄りのない単身高齢者の増加を踏まえ、市営住宅の入居の条件としていた連帯保証人を不要とし、緊急連絡先の届出に、今年度より緩和されました。(令和元年6月議会で要望)



皆様からのご意見・ご要望等ございましたら、お気軽にご連絡ください

亀岡市議会議員  
山本 由美子

〒621-0114  
亀岡市東別院町鎌倉雁松9-37  
TEL・FAX 0771-27-3742 携帯 080-1420-4423  
E-mail: yamamo630216@zeus.eonet.ne.jp  
ホームページ <https://www.yamamoto-yumiko-kzhd.com/>

